



農業委員などが決まる

松前町農業委員・農地利用最適化推進委員

7月20日からの3年間、農地利用などに関する意思決定を行う農業委員14人、担当地区での農地などの最適な利用を進める農地利用最適化推進委員10人の併せて24人が決定しました。

また、農業委員の会長には池内直人さんが、会長職務代理者には鳥越英子さんが選出されました。



会長
池内 直人さん



会長職務代理者
鳥越 英子さん

▶農業委員

濱田 淳司	(南黒田・北黒田)
鳥越 英子	(宗意原・新立・本村・筒井)
渡部 禎純	(徳丸)
本田 啓三	(中川原)
秋山 和恵	(出作)
池内 直人	(神崎)
久津那 良一	(鶴吉)
篠崎 保	(横田・大溝)
渡部 幸俊	(永田・東古泉)
伊賀上 典久	(大間・上高柳)
大政 浩史	(恵久美)
喜安 英男	(昌農内・西高柳)
戎森 基晴	(西古泉・塩屋)
喜安 眞造	(北川原)

▶農地利用最適化推進委員

中矢 龍彦	(南黒田・北黒田)
赤星 文人	(宗意原・新立・本村・筒井)
中野 良雄	(徳丸)
大政 庸久	(中川原)
弓達 隆	(出作・神崎)
済川 康弘	(鶴吉・横田)
仲矢 國和	(大溝・永田・東古泉)
大西 薫一	(大間・上高柳)
宇野 洋一	(恵久美・昌農内・西高柳)
福島 清繁	(西古泉・塩屋・北川原)



美しい写真で魅力発信

フォトブック「夕陽物語 2019/2020」寄付

稲垣優さん＝東古泉＝は8月7日、塩屋海岸の魅力を伝えようと、夕日や夕景を収録したフォトブック「夕陽物語 2019/2020」を町に寄付しました。このフォトブックの写真は、令和元年10月から2年3月までの5カ月間、稲垣さんが毎日塩屋海岸に通って撮影したもの。美しいだるま夕日などが収録されたこのフォトブックは、町のライブラリーで見ることができます。ぜひご覧ください。



24組 47人が熱戦を展開

第41回松前町民ソフトテニス大会(小・中学生の部)

「松前町民ソフトテニス大会(小・中学生の部)」は7月23日、松前中学校テニスコートで行われました。結果は次の通りです(敬称略)。

優勝	準優勝	3位
池内 麻乃 大星 結珠	本田 喜予 松田 怜実	本田 紗希 飯田 夕和 大澤 幸穂 矢野 愛純



＊瑞宝双光章【警察功労】
かくとう・よしみ
角藤 喜美さん
元県警部 72歳 中川原

昭和41年に愛媛県警に採用されて以降、県内各地で勤務。交通部門に長く携わり、交通指導取り締まりやひき逃げなどの特殊捜査を行い、住民の安全確保に尽力しました。

受章に対し、「心より感謝申し上げます。在職中は、悲惨な交通事故に数多く関わりました。『交通戦争』という言葉が復活しないことを祈るばかりです」と話していました。



恵久美に花いっぱいスポットを

伊予農生が地域をお手伝い

伊予農業高等学校生物工学科草花専攻の2年生8人は7月30日、授業の一環で恵久美地区の花畑整備をお手伝いしました。

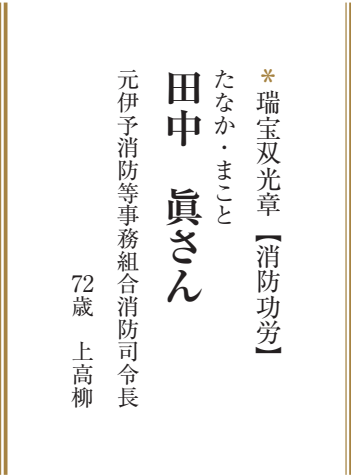
この整備は、地元に水辺の草花などを楽しめる花畑をつくらうと、大字が取り組んでいるもの。花畑の一角に、同校が保管している絶滅危惧種のイヨアブラギクを植える予定です。参加した生徒たちは、まず草引きをして土を整えていました。今後は、石垣を積むなどして数回に分けて作業を行っていきます。



叙勲で本町から2人が受章

危険業務従事者叙勲

政府が4月11日付けで発表した「第34回危険業務従事者叙勲」で、次の通り角藤喜美さんと田中眞さんがそれぞれ受章しました。



＊瑞宝双光章【消防功労】
たなか・まこと
田中 眞さん
元伊予消防等事務組合消防司令長 72歳 上高柳



17年ぶりに松前町指定文化財へ

松山領伊予郡絵図を発見

7月22日、「松山領伊予郡絵図」を松前町指定文化財に指定しました。8番目に当たる同文化財への指定は、約17年ぶりのこと。旧松山藩領が描かれたこの絵図は、民家の蔵で発見され、教深寺＝大間＝に寄贈されたものです。絵図の全体写真など詳しくは、26ページの「松前の魅力伝え隊」をご覧ください。

皆さんの家にも、貴重な歴史資料が眠っているかもしれません。捨てる前に、歴史資料の調査などを行う愛媛資料ネット(☎ 927-9312)に相談してみてください。



- ④分からないところは優しくアドバイス
- ⑤一緒に食べるとおいしいね
- ⑥「勉強お疲れさま」。一人ずつカレーをもらう



一緒にやると、はかどるね

レインボーフロッグ主催 夏休みの宿題会

ボランティア団体のレインボーフロッグは8月10日、福祉センターで夏休みの宿題会を開催しました。これは、夏休み中の子どもたちに、集中して宿題に取り組む場を提供しようと同団体が企画したもの。午前の部と午後の部に分け、2時間ずつ延べ24人の小中学生が参加しました。

子どもたちをサポートしたレインボーフロッグ代表の大政千津子さん＝恵久美＝は、「周りも勉強しているので、一人でやるよりもはかどったようです。私たちも楽しくお手伝いができました」と話していました。

集中して宿題に取り組んだ後は、うれしいご褒美が一。社会福祉協議会と町内の社会福祉法人の職員らから、カレーやかき氷が無料で振舞われ、子どもたちは「おいしい!」と笑顔で頬張っていました。



古泉駅で町花ひまわりがお出迎え

恋泉畑

7月下旬、^{こいずみばたけ}恋泉畑のひまわりが満開を迎えました。

恋泉畑とは、伊予鉄道古泉駅南側に整備した花畑のこと。ひまわり、コスモスや菜の花など四季折々の花が、町を訪れる皆さんを出迎えます。

今後は、種まきをしたコスモスが10月上旬に見ごろを迎える予定です。花畑中央の通路を使って花に近付いたり、車両をバックに写真を撮ったりすることができます。皆さんも、カメラ片手に訪れてみませんか。



- ④ミツバチもひまわりにごあいさつ
- ⑤伊予鉄道の車両をバックにパシャリ



青々としたカヤで茅の輪作り

無病息災を願って厄を払う「茅の輪くぐり」

7月29日、伊豫神社に立派な茅の輪が登場しました。これは、翌日に行う「夏越祭」のため、カヤを使って編み締められたもの。社寺総代長の大政秀郷さん＝鶴吉＝が、「最近では、青々とした茅の輪は珍しい」と話すように、除草剤の使用などでカヤの確保が難しくなっています。橋本密雄さん＝鶴吉＝の徹底した管理のおかげで、今年も無事に完成し、神崎・鶴吉地区の皆さんは「茅の輪くぐり」で厄を払っていました。

- ④熟練の技で編み締めたカヤ
- ⑤完成した茅の輪の前でにっこり

